

# 平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	3 章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち（社会福祉の充実）			
	施策（大柱）	1 節 地域福祉	H20 実施計画事業費合計	143,472 千円	
	中柱	1 地域福祉コミュニティの推進		3,678 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
		2 福祉活動の充実		139,587 千円	
		3 地域福祉サービスシステムの確立		207 千円	
			千円		
施策に関係する所属	福祉総務課、交通安全課				

1)基本方針及び施策の目的

○地域社会の課題解決に向けて、福祉活動の実践事業を展開していく地域福祉コミュニティづくりを進める。  
 ○社会福祉協議会をはじめとした関係団体との連携を強化し、地域に密着した福祉活動の推進に取り組む。  
 ○地域福祉を進めていくための活動拠点の整備に取り組む。

2)施策の具体的な内容及び実施方法

○地域福祉コミュニティの推進 様々な機会において福祉教育を進め、市民との連携やボランティア活動の活性化により高齢者や障害者の地域参加や相互交流が出来る機会を創出する。さらに、新たな地域のつながりにより安全で快適な生活を送れるよう図る。 ○福祉活動の充実 社会福祉協議会の充実とともに、地域福祉を支える人材の育成などにつとめ、活動団体とのネットワークを構築する。また、民生委員・児童委員の活動を支援する。 ○地域福祉サービスシステムの確立 地域福祉に必要な情報提供などを行う体制を整え、全ての市民が地域福祉を進めるための活動拠点として、総合福祉センターの整備に取り組む。

3)分野別計画、指針

○所沢市地域福祉計画 ○所沢市交通バリアフリー基本構想

② 施策の概要

4)関連・類似施策

○7-1地域コミュニティ

5)施策に対する市民ニーズ

『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。

要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位
165 人	19.9 %	25 位	5 位
831 人		43 位	6 位

6)施策に係る基礎数値

項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
社会福祉協議会予算額	千円	補助金98,770 154,297	補助金86,565 145,008	補助金85,639
ボランティア連絡協議会加盟団体数	団体	42 (個人1)	47 (個人1)	46 (個人1)
民生委員・児童委員数	人	481	481	493
地域福祉コミュニティづくり実施地区数	地区	1	2	2
駅ボランティア登録人数	人	216	283	271

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標		
【5年後の目標】地域福祉コミュニティ推進事業の参加者数	住民自らが、互いに支え合う地域社会への取組状況を示す指標	人	年度	目標値	85	109	132	156	180	年度	
			17	実績値	83	117	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			61	達成率	97.6%	107.3%				180	
サービス拠点整備率（地域福祉コミュニティ団体）	各行政区に地域福祉を推進する団体の設置数	ヶ所	年度	目標値	5	6	9	11	11	年度	
			17	実績値	5	7	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			3	達成率	100.0%	116.7%				11	
駅ボランティア実施駅数	身体障害者や高齢者をサポートする駅ボランティアを配置している駅の数	ヶ所	年度	目標値	10	10	11	11	11	年度	
			17	実績値	9	9	9	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値
			10	達成率	90.0%	90.0%	81.8%				11
		%	年度	目標値						年度	
				実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
				達成率							

⑤平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

並木、柳瀬地区において、地域福祉コミュニティ推進事業を実施することとしたが、市民主導の事業とするため、参加者の公募前に地域における関係団体から実行委員を選出いただき、地域福祉の推進リーダーとして育成した。このため、実践活動等全て参加者によるチーム主導で事業が実施できた。

1)平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
地域の福祉関係団体の理解を得て、平成18年度から2行政区で実施したため、平成19年度には7地区まで事業が進んだ。このため、参加者も目標値を上回っているが、関係団体以外からの参加者も多く得られるように努めることも重要である。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input checked="" type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑥ 評価（課題及び目標）

2)平成20年度における目標設定

今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
地域福祉コミュニティ推進事業を11行政区に拡大するため、平成20年度は、所沢・吾妻地区で実施する。	平成19年度に社会福祉協議会が作成した、「地域福祉活動計画」との整合性を図りながら具体的な福祉サービス事業を進める。	平成20年12月まで

3)今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

地域福祉コミュニティ推進事業は、市民参加によって、地域における生活課題を抽出し、その課題のうち、特に「福祉課題」の解決に向けて市民自らが実践していく事業としてスタートしたが、地域における支えあいのための「福祉サービス」の事業より、地域の方々の協働による「福祉コミュニティづくり」が中心となっている。

このことは、施設福祉から在宅福祉の転換から、要介護者（高齢者・障害者・子ども等）が家族や地域社会の一員として日常生活上の多様なサービスを受けられるように、公的領域の福祉サービスのほか、コミュニティによるケアも織り交ぜた体制づくりが求められており、地域住民も地域の希薄化から生ずる問題に関心が高くなってきている表れではないかと考える。

主な活動だが、地域の財産である良好な環境づくり（川清掃、花いっぱい運動）や支えあいのまちづくり（福祉・防災マップづくり、世代間交流・福祉まつり）、地域情報の発信などは市民相互の援助（互助・共助）の要素の視点から重要な実践活動であると考えられる。なお、今後もこの傾向は続くものと思われるため、各地区活動グループの連携を図っていく。

評価日	平成20年8月1日	記入者職氏名	保健福祉部次長 梅田 実
-----	-----------	--------	--------------